

単語帳

音読用テキストに登場する重要語句240語(各レッスン20語)を、レッスン順に「記憶ブースター」(語源・関連語・イメージ連想)つきでまとめました。

お疲れ様でした

英語長文ポラリス 単語帳 Lesson 1～12・全240語

使い方：日本語訳は赤シートで隠せる色で印刷されています。記憶ブースターは覚え方のヒントなので、隠さずいつでも読めます。

印刷方法(中綴じ製本)：両面印刷の設定を必ず「短辺とじ」にしてください(長辺とじだと裏面が上下逆になります)。全ページを印刷したら束をそのまま半分に折り、中央をホチキス留めすれば単語帳が完成します。

※**まず1枚だけ試し刷り**して、折り目でページが正しく連番になるか確認してから残りを印刷してください。

LESSON 1

運動の「やる気スイッチ」は意外な場所にある

1

sedentary

[séðəntəri]

形 座りがちな

ラテン語sedere(座る)が語源。sit(座る)と同じ根っこを持ち、seat(座席)やsession(会議=座っている時間)とも仲間。

2

microbiome

[màikroubáioum]

名 微生物叢

micro(微小)+biome(生物群系)の合成語。bio-はbiology・biographyと同じ「命・生命」を表す語根で、体内に棲む微生物の集合体をイメージ。

3

endurance

[indjúərəns]

名 持久力

ラテン語durare(持続する)由来。durable(耐久性のある)と同語根で、endure(耐え忍ぶ)に名詞語尾-anceがついた形。

4

voluntary

[váləntəri]

形 自発的な

ラテン語voluntas(意志)が語源。volunteer(ボランティア=自分の意志で動く人)と兄弟語で、「自分の意志で」という核イメージが共通。

5

irreversibly

[irivá:rsəbli]

副 不可逆的に

ir-(否定)+reverse(逆にする、ラテン語vertere=向きを変える)+-ibly。「元の向きに戻せないほどに」というイメージで覚える。

6

coronary

[kó:rənəri]

形 冠状動脈の

ラテン語corona(王冠)が語源。心臓を王冠のように取り巻く血管を指す言葉で、crown(王冠)やcoronation(戴冠式)と同じ根を持つ。

7

dwell

[dwel]

動 住む、とどまる

古英語dwellan(迷う・とどまる)が語源。dwelling(住居)、dweller(住民)と同根で、本文では腸内に「棲みつく」細菌を指す。

8

transplanted

[trænsplæntid]

動 移植された

trans-(向こうへ)+plant(植える)。原義は「別の場所へ植え替える」で、臓器移植のtransplantも同じ語根から来ている。

9

neurotransmitter

[njù:routrænsmítər]

名 神経伝達物質

neuro-(神経、ギリシャ語neuron)+transmit(送る、trans-越えて+mittere送る)+-er。神経細胞から細胞へ情報を運ぶ「送り届け役」の物質というイメージ。

10

premature

[pri:mætjúər]

形 早すぎる、時期尚早の

pre-(前に)+mature(成熟した、ラテン語maturus)。「成熟する前の」が直訳で、本文のpremature deaths(早すぎる死)のように「本来の時期より早い」ことを表す。

11

inherited

[inhéritid]

形 遺伝性の、受け継がれた

heritage(遺産)やheir(相続人)と同語源。ラテン語hereditareが元で、「親から受け継いだ」性質を指し、本文ではinherited traits(遺伝形質)として登場。

12

conversely

[kənvəˈrslɪ]

副 逆に、それとは対照的に

converse(逆の、con-共に+vertere向きを変える)+-ly。universe(全てが一つに向かう)やreverse(逆にする)と同じvert-語根の仲間で「向きが反転する」イメージ。

13

inclined

[ɪnkláɪnd]

形 傾向がある、～したい気持ちがある

ラテン語clinare(傾く)が語源で、incline(傾ける)+-ed。心がある方向に「傾く」イメージから「～する気になる」を表し、decline(下に傾く=断る)やclimate(気候)とも同語源。

14

trigger

[ˈtrɪɡər]

動 引き起こす、誘発する

もとは銃の「引き金」を指す名詞。引き金を引くと連鎖的に発砲が起こることから、「ある出来事のきっかけを作る」という動詞の意味に発展した。

15

substantially

[səbstəˈrɪəli]

副 かなり、相当に

substance(実質、ラテン語substare=下に立つ)+-ial+-ly。「実質を伴うほどの量」というイメージで、「かなりの程度」を表す。

16

breadwinner

[ˈbredˌwɪnər]

名 一家の稼ぎ手

bread（パン=生活の糧）+winner（勝ち取る人）の複合語。「家族が食べていくためのパンを稼ぎ取る人」という直訳イメージそのままの単語。

17

uproot

[ʌpˈru:t/]

動 故郷から引き離す、根こそぎにする

up（上へ）+root（根）で、植物を「根こそぎ引き抜く」がもとの意味。そこから比喩的に、人が住み慣れた土地から引き離される場合にも使われる。

18

refugee

[ˌrefjuˈdʒiː/]

名 難民

refuge（避難、逃げ場）に「～する人」を表す-eeがついた形。take refuge（避難する）のrefugeと合わせて覚えると定着しやすい。

19

mobility

[ˌməʊˈbɪləti/]

名 流動性、移動性

mobile（動きやすい、可動性の）の名詞形。social/economic mobility（社会的・経済的流動性）のように、階層間の移動しやすさを表す文脈で頻出。

20

discrimination

[ˌdɪˌskrɪməˈneɪʃən/]

名 差別

dis-（分けて）+crimen（区別、判断、ラテン語）が語源。discriminate against～（～を差別する）という動詞形とセットで覚えるとよい。

11

asylum

[əˈsatləm/]

名 亡命、保護、避難所

ギリシャ語asylon（不可侵の場所）が語源。seek asylum（亡命を求める）、asylum seeker（亡命希望者）は難民・移民関連の必須表現。

12

poverty

[ˈpa:vərti/]

名 貧困

ラテン語pauper（貧しい）が語源。poor（貧しい）の名詞形で、poverty line（貧困線）のように社会問題を扱う文章で頻出。

13

conflict

[ˈka:nflikt/]

名 紛争、対立

con-（共に）+fligere（打つ、ラテン語）が語源で、「互いに打ち合う」イメージ。国家間の武力衝突から意見の対立まで幅広く使われる。

14

agency

[ˈeidʒənsi/]

名 主体性、行為主体性、代理店

agent（行為者、代理人）に抽象名詞化の-cyがついた形。「自ら動く力・主体として振る舞う能力」という意味で、社会学の文章では「主体性」の訳が重要。

15

distinction

[drɪˈstɪŋkʃən/]

名 区別

distinguish（区別する＝dis-「離れて」+stinguere「刺す、印をつける」）の名詞形。make a distinction between A and B（AとBを区別する）の形で頻出。

16

counterpart

[kɑʊntəpɑːrt]

名 対応するもの、相当するもの

counter-(対応して)+part(部分)。「向かい合う部分」が原義で、本文では活発なマウスに「対応する」活発でない個体を指す。

17

deplete

[dipli:t]

動 枯渇させる、使い果たす

de-(完全に)+plere(満たす、ラテン語)。complete(完全に満たす)やsupply(補給)と同語根で、「満ちていたものを空にする」がコアイメージ。

18

sustain

[səsteɪn]

動 持続させる、支える

sus-(下から)+tenere(保つ、ラテン語)。sustainable(持続可能な)と同語源で、「下から支え続ける」イメージ。

19

trait

[treɪt]

名 形質、特徴

フランス語trait(引かれた線)が語源。ラテン語trahere(引く)から来ており、tractor(トラクター=引っ張る機械)と同根で「引き出された一本の特徴」というイメージ。

20

influence

[ɪnfluəns]

動 影響を与える

in-(中へ)+fluere(流れる、ラテン語)。fluid(流動体)と同語根で、「見えない力が流れ込んで作用する」イメージ。

LESSON 2

子ども向けの本を男女別表示にするのをやめよう

1

stereotype

[stéɪəɪəɪp]

名 固定観念

ギリシャ語stereos(硬い・固体の)+type(型)。もとは印刷の「鋳型」を指した語で、そこから「型にはまった決まりきったイメージ」の意味に発展した。

2

peddle

[pédɪ]

動 広める、売り歩く

行商人を意味するpeddler/pedlarの動詞形。足で歩き回って商品を売る様子から、噂や考え方を「広める」比喻にも使われる。

3

reinforce

[ri:ɪnfó:rs]

動 強化する

re-(再び)+enforce(force=力を強いる)。forceが共通語根で、enforce(施行する)にさらに力を重ねるイメージで「補強する・強化する」。

4

vulnerable

[válɪnəəbl]

形 傷つきやすい

ラテン語vulnus(傷)+-able(～され得る)。「傷つけられ得る」が原義で、名詞形vulnerability(脆弱性)も同じ語根を持つ。

5

gendered

[dʒéndərd]

形 性別による

gender(性別)はラテン語genus(種類・生まれ)由来。generate(生み出す)やgenetic(遺伝の)と同じgen-(生む)の語根仲間。

LESSON 12(つづき)

6

subsequent

[/'sʌbsɪkwənt/]

形 その後の、続く

sub-(下に)+sequi(続く)が語源で、「後に続いて起こる」イメージ。consequent(結果として起こる)、sequence(連続)と同じsequ語根の仲間。

7

custody

[/'kʌstədi/]

名 保護、監護、拘留

ラテン語custodia(見張り、保管)由来。in custody(拘留中)、child custody(子の親権)のように、法律・家族関連の文脈で頻出する語。

8

typify

[/'tɪpəfaɪ/]

動 ～を代表する、～の典型となる

type(型、タイプ)+fy(～化する)の組み合わせ。typical(典型的な)と同じtype語根で、「あるタイプの見本となる」イメージ。

9

prolonged

[/prə'lə:ŋd/]

形 長期化した、長引く

pro-(前へ)+long(長い)から成るprolongの過去分詞形。「時間を前へ前へと引き延ばす」イメージで、a prolonged illness(長患い)のように使う。

10

spur

[/spɜ:r/]

動 ～を駆り立てる、促進する

元は馬につける「拍車」を意味する名詞。そこから「拍車をかけて急がせる」という比喻で動詞化し、spur economic growth(経済成長を促す)のように使われる。

LESSON 12

子どもが移民となる理由

1

phenomenon

[/fəˈnɑːmənɑːn/]

名 現象

ギリシャ語phainesthai（現れる）が語源。複数形はphenomenaという不規則変化で、datum→dataと同じくギリシャ・ラテン起源の単語に多いパターン。

2

unaccompanied

[/ˌʌnəˈkʌmpənɪd/]

形 同伴者のいない

accompany（同行する=ac-「〜へ」+company「仲間」）にun-（否定）がついた形。unaccompanied minor（保護者なしの未成年）は空港・移民関連の頻出表現。

3

internally displaced

[/ɪnˈtɜːrəli dɪˈspleɪst/]

形 国内避難した

displace=dis-（離れて）+place（場所）で「本来の場所から追い出す」。internally（国内で）と組み合わせり、国境は越えず住処だけ追われた人を指す難民関連の定型表現（IDP）。

4

reunification

[/ˌriːjuːnəfɪˈkeɪʃən/]

名 再統合

re-（再び）+unify（uni「一つ」+fy「〜化する」=統一する）+ation。family reunification（家族再統合）は移民政策で頻出のキーワード。

5

vulnerability

[/ˌvʌlnərəˈbɪləti/]

名 脆弱性

ラテン語vulnus（傷）が語源で、vulnerable（傷つきやすい）の名詞形。同じvulnus由来のvulture（ハゲタカ=傷ついた獲物を狙う鳥）と結びつけると忘れにくい。

LESSON 2(つづき)

6

aggressively

[əˈɡresɪvli]

副 積極的に

ラテン語ad-(〜へ)+gradi(進む)由来のaggressive(攻撃的な)+-ly。gradiはgradual(徐々の)やprogress(前進)とも同根で、「前へぐいぐい進む」勢いのイメージ。

7

assumptions

[əˈsʌmpjənz]

名 思い込み、仮定

ラテン語assumere(取り上げる、ad+sumere取る)が語源。consume(消費する)やresume(再開する)と同じsume語根の仲間で、「勝手に取り上げた前提」のイメージ。

8

predictably

[prɪdɪkəbli]

副 予想通りに

pre-(前もって)+dict(言う、ラテン語dicere)+-ably。dictionary(辞書)やdictate(命令する)と同根で、「前もって言い当てられる」イメージで覚える。

9

self-esteem

[sɛlfɪˈtiːm]

名 自尊心

esteemはラテン語aestimare(評価する)由来。estimate(見積もる)と同語源で、「自分自身を評価する気持ち」がそのまま自尊心を表す。

10

exceed

[ɪksɪˈd]

動 超える、上回る

ex-(外へ)+cedere(進む、ラテン語)。proceed(前進する)やsucceed(後に続く=成功する)と同根で、「限界の外へ進み出る」イメージ。

11

inequality

[ˌɪnɪkwəˈləti]

名 不平等

in-(否定)+equal(等しい、ラテン語aequalis)+-ity。equator(赤道=地球を等分する線)と同じaequ-語根で、「等しくない状態」を表す。

12

restrict

[rɪˈstrɪkt]

動 制限する

re-(強意)+stringere(締めつける、ラテン語)。strict(厳格な)やstrain(緊張)と同根で、「きつく締めて範囲を狭める」イメージ。

13

persuade

[pəˈsweɪd]

動 説得する

per-(徹底的に)+suadere(勧める、ラテン語)。「相手が納得するまで徹底的に勧める」イメージで覚える。

14

horizon

[həˈraɪzn]

名 視野、地平線

ギリシャ語horizein(区切る)が語源。「見える範囲を区切る線」が原義で、比喩的に「視野・可能性の範囲」も表す。

15

overlap

[ˌəʊvərlæp]

動 重なる

over(上に)+lap(重なる部分)。競技のラップと同根で「一部が重なり合う」イメージから「範囲が重複する」を表す。

16

lifespan

[ˈlaɪfspæn/]

名 寿命

life(生命)+span(一続きの期間、橋のスパンと同じ語)の複合語。「生きている期間の長さ」をそのまま表す分かりやすい単語。

17

childlessness

[ˈtʃaɪldlənəs/]

名 子供がいないこと

child(子供)に欠如を表す-less、さらに名詞化の-nessがついた形。careless(不注意な)と同じ-lessパターンで、「子を持たない状態」を表す。

18

proportion

[prəˈpɔːrʃən/]

名 割合、比率

pro-(～に応じて)+portion(部分、割り当て)が語源。「全体に対する部分の釣り合い」がもとの意味で、in proportion to～(～に比例して)という形も頻出。

19

dependent

[dɪˈpendənt/]

形 依存している

de-(下に)+pendere(ぶら下がる)が語源で、「何かにぶら下がって支えられている」イメージ。depend on～(～に頼る)の形容詞形で、independent(独立した)は反対語。

20

exception

[ɪkˈsepʃən/]

名 例外

ex-(外に)+capere(取る)が語源で、「全体の枠から外に取り出されたもの」のイメージ。exceptional(例外的な、傑出した)ともつながる。

11

outperform

[/.aʊt.pərˈfɔːrm/]

動 ～を上回る、～より優れた成果を出す

out- (～を超えて) +perform (成果を出す) の複合語。outdo, outnumber, outgrowなどout-系動詞は「他より優れる・上回る」という意味を作る便利な接頭辞。

12

destiny

[/'destəni/]

名 運命

ラテン語destinare (固定する、定める) が語源。「あらかじめ定められた道」のイメージで、destined to～ (～する運命にある) という形でよく使われる。

13

decline

[/'dr̥.klaɪn/]

動 減少する、衰退する

de- (下へ) +clinare (傾く、ラテン語) が語源で、「下方へ傾いていく」イメージ。名詞としても使われ、economic decline (経済の衰退) のように頻出する。

14

terminal

[/'tɜːrmənəl/]

形 末期の、最終的な

ラテン語terminus (境界、終点) が語源。空港のterminal (終着駅・発着所) と同じ語根で、「これ以上先がない終わりの地点」のイメージ。

15

symptom

[/'sɪmptəm/]

名 症状、兆候

ギリシャ語syn- (共に) +píptein (落ちる) が語源で、「病気と一緒に現れ落ちてくるもの」のイメージ。医学的な症状だけでなく、社会問題の「兆候」の意味でも使われる。

16

massive

[mæ'sɪv]

形 巨大な、多大な

mass(かたまり、ギリシャ語maza)+-ive。「かたまりのように大きい」イメージで、規模や量の大きさを表す。

17

ridiculous

[rɪ'dɪkjələs]

形 ばかげた

ラテン語ridere(笑う)が語源。ridicule(あざけり)と同根で、「笑ってしまうほどばかけている」様子を表す。

18

morally

[móːrəli]

副 道徳的に

moral(道徳的な、ラテン語mos=習慣)+-ly。「習わし・道徳」に関する行動や判断を指す副詞。

19

establish

[ɪstæ'blɪʃ]

動 確立する

ラテン語stabilire(安定させる)由来。stable(安定した)と同根で、「しっかり安定した状態を作る」イメージ。

20

threaten

[θreɪtən]

動 脅かす

threat(脅威、古英語þreat=圧迫)の動詞形。「圧をかけて危険にさらす」イメージで、名詞threatとセットで覚える。

LESSON 3

「週4日勤務」でハッピーになれるのか？

1

burnout

[bə:rnàut]

名 燃え尽き症候群

burn(燃える)+out(尽きる)の合成語。ろうそくが燃え尽きるイメージそのままなので、直感的に覚えやすい。

2

overwhelmed

[òuvərwélmɪd]

形 圧倒された

over-(超えて)+whelm(覆いかぶさる・ひっくり返す、古英語由来)。大波にすっぽり飲み込まれるイメージで「圧倒される」感覚をつかむ。

3

diligent

[dílidʒənt]

形 勤勉な

ラテン語diligere(大切に選び取る、愛する)が語源。di-(離して)+legere(選ぶ、collect・selectと同根)で、「一つひとつ丁寧に選ぶほど注意深い」→「勤勉な」に発展した。

4

compressed

[kəmprésɪt]

形 圧縮された

com-(共に・強意)+press(押す)。express(外に押し出す=表現する)やimpress(内に押し込む=印象づける)と同じpress語根の仲間。

5

disengaged

[dísɪŋɡeɪdʒd]

形 意欲を失った

dis-(否定)+engage(引き込む・関わる)。engagementの「婚約」も同語源で「深く関わる」意味を持ち、disがつくとその関わりから外れたイメージになる。

LESSON 11(つづき)

6

consecutive

[/kən'sekjətɪv/]

形 連続した

con-(共に)+sequi(続く、ラテン語)が語源。sequence(連続・順序)、subsequent(その後の)と同じsequ語根の仲間。

7

median

[/ˈmi:diən/]

形 中央値の、中間の

ラテン語medius(真ん中の)由来。medium(中間・媒体)、mediate(仲裁する=間に入る)と同じ語根で、「ちょうど真ん中」のイメージ。

8

gloomy

[/ˈglu:mi/]

形 陰鬱な、暗い

gloom(薄暗がり、憂鬱)の形容詞形。天候にも心情にも使え、a gloomy sky(どんよりした空)、a gloomy future(暗い未来)のように広く用いられる。

9

embrace

[/ɪmˈbreɪs/]

動

(考え方・状況を)受け入れる、抱きしめる

em-(〜の中に)+brace(腕、ラテン語bracchium)が語源で、文字通り「腕の中に抱え込む」。そこから比喩的に「進んで受け入れる」意味に発展した。

LESSON 11

高齢化社会のメリットとは？

1

demographic

[/ˌdemaˈɡræfɪk/]

形 人口統計上の

ギリシャ語demos（民衆）+graphia（記述）が語源。democracy（民主主義=demos+kratos「支配」）と同じdemos語根を持つ仲間。

2

fertility

[/fərˈtɪləti/]

名 出生率

ラテン語fertilis（実り豊かな）由来。形容詞fertile（土地が肥沃な／多産の）の名詞形で、「土地が実る」イメージが「子を産む」意味にも広がった。

3

compensate

[/ˈkaːmpənsɪt/]

動 埋め合わせる

ラテン語com-（共に）+pensare（秤にかける）が語源。「両方を天秤に乗せて釣り合わせる」イメージ。pension（年金）も同じpend/pens系（支払う）の親戚。

4

longevity

[/lɑːnˈdʒevəti/]

名 長寿

ラテン語longus（長い）+aevum（生涯・時代）から。longという見た目のままに「長く生きること」と覚えれば忘れない。

5

workforce

[/ˈwɜːrkfɔːrs/]

名 労働力

work（仕事）+force（組織された人の集団）の複合語。air force（空軍）のforceと同じで、「働く人たちの集団」というイメージ。

10

burden

[/ˈbɜːrdn/]

名 負担、重荷

古英語byrthenが語源で「運ぶもの」の意。bear（運ぶ・耐える）と語感が近く、「背負って運ぶ重荷」のイメージで覚えると定着しやすい。

6

incentivize

[ɪnsɛntəvaɪz]

動 奨励する

名詞incentive（動機づけ・報奨）を動詞化した語。ラテン語incentivum（鼓舞する歌）が語源で、「やる気に火をつける」イメージで覚えると定着しやすい。

7

thrive

[θraɪv]

動 繁栄する、うまくいく

古ノルド語thrifask（つかみ取る）が語源。何かをしっかりとつかみ取って成長していくイメージで「繁栄する・うまくいく」を覚える。

8

misconceptions

[mɪskənsɛpʃənz]

名 誤解

mis-（誤り）+conception（概念、con-+capere把握する）。conceive（思いつく）やcapture（捉える）と同根で、「間違って把握してしまったこと」を表す。

9

foster

[fɒstər]

動 育む、助長する

古英語fostrian（養う）が語源。foster child（里子）のfosterと同じ語で、「大切に養い育てて成長を促す」イメージ。

10

resentful

[rɪzɛntfəl]

形 憤慨した、不満を抱いた

re-（再び）+sentire（感じる、ラテン語）+-ful。sense（感覚）やsentiment（感情）と同根で、「嫌な感情が何度もぶり返す」イメージ。

11

rigorous

[ˈrɪɡərəs]

形 厳格な、厳密な

ラテン語rigere(硬直する)が語源。rigid(硬直した)と同語源で、「融通が利かないほど厳しい」イメージで覚える。

12

diminish

[dɪmɪnɪʃ]

動 減少させる

ラテン語minuere(小さくする)が語源。minor(小さい)やminute(微小な)と同根で、「どんどん小さく削っていく」イメージ。

13

overworked

[ˌoʊvərˈwɜːrkt]

形 働きすぎの

over-(過剰に)+work(働く)+-ed。「許容量を超えて働かされた」状態を表し、burnout(燃え尽き)の一手手前のイメージ。

14

decline

[dɪklaɪn]

動 低下する、衰える

de-(下へ)+clinare(傾く、ラテン語)。incline(傾ける)と同根で、「下向きに傾いていく」イメージから「低下する・断る」両方の意味に発展した。

15

sacrifice

[ˈsækrəˈfæɪs]

動 犠牲にする

ラテン語sacer(神聖な)+facere(作る)。「神への捧げ物にする」が原義で、そこから「大切なものを差し出す」に発展した。

16

solely

[ˈsoʊli/]

副 もっぱら、単に

sole(唯一の、足の裏の意味もある)に副詞化の-lyがついた形。rely solely on～(～だけに頼る)のようにrely onとセットで覚えると使いやすい。

17

utmost

[ˈʌtməʊst/]

形 最大限の、この上ない

out(外へ)の最上級の古い形utmostで、「これ以上外へ出られない限界」のイメージ。with utmost care(細心の注意を払って)は定型表現。

18

acquired

[əˈkwæɪərd/]

形 後天的な、習得した

acquire(獲得する=ac-「～へ」+quaerere「求める」)の過去分詞形。生まれつきのinnate/inbornと対で、「後から獲得した」性質を表す。

19

reliability

[rɪˈlaɪəˈbɪləti/]

名 信頼性

rely(頼る)+able(できる)+-ityで「頼ることができる度合い」。rely on～(～に頼る)の名詞派生と覚えれば、reliable(信頼できる)ともつながる。

20

examinee

[ɪɡˌzæməˈniː/]

名 被験者、受験者

examine(検査する、試験する)に「～される人」を表す接尾辞-eeがついた形。employ→employee(従業員)と同じ作りで、「調べられる側の人」を指す。

11

undergo

[ˌʌndərˈɡoʊ/]

動 (検査・治療などを) 受ける、経験する

under (下に) +go (行く) の組み合わせで、「試練の下をくぐり抜ける」イメージ。undergo an operation (手術を受ける) は頻出コロケーション。

12

accuracy

[ˈækjərəsi/]

名 正確性

accurate (正確な) の名詞形。ラテン語ad- (〜へ) +cura (注意、curious 「好奇心」と同語根) が語源で、「注意を払って仕上げた」精密さのイメージ。

13

diabetes

[ˌdaɪəˈbi:tɪz/]

名 糖尿病

ギリシャ語diabainein (通り抜ける) が語源で、「水分が体を素通りしてしまう病気」というイメージから名づけられた。医療系の長文で頻出する病名の一つ。

14

venture

[ˈventʃər/]

名 投機的事業、ベンチャー企業

adventure (冒険) から頭のadが落ちた語で、「危険を冒す事業」がもとの意味。venture capital (ベンチャーキャピタル) のように、新興企業への投資文脈で頻出。

15

halt

[hɔːlt/]

動 停止させる、止まる

ドイツ語halten (保持する、止まる) に由来。come to a halt (停止する) のように名詞としても使われ、stopよりやや硬い響きを持つ。

16

retain

[riˈteɪn]

動 保持する、つなぎとめる

re-(後ろに)+tenere(保つ、ラテン語)。maintain(保つ)と同根で、「手放さずに引き止めておく」イメージ。

17

devote

[dɪˈvəʊt]

動 捧げる、専念する

de-(完全に)+vovere(誓う、ラテン語)。vow(誓い)と同根で、「誓いを立てて完全に差し出す」イメージ。

18

unrealistic

[ʌnriəlɪstɪk]

形 非現実的な

un-(否定)+realistic(現実的な、real+-istic)。realの語根はラテン語res(もの)で、「実際の物事から離れた」イメージ。

19

fulfill

[fʊlˈfɪl]

動 果たす、満たす

full(満たされた)+fill(満たす)が重なった語。「完全にいっぱい満たす」が原義で、約束や義務を「果たす」意味に発展した。

20

align

[əˈlaɪn]

動 一致させる、揃える

a-(〜へ)+line(線、ラテン語linea)。「同じ線の上に並べる」イメージから「調和させる・一致させる」を表す。

LESSON 4

ジェスチャーと言葉は脳の同じ領域を使っている

1

nonverbal

[nɑːnvərbəl]

形 非言語の

non-(否定)+verbal(言葉の)。verbal・verb(動詞)・verbose(冗長な)はすべてラテン語verbum「言葉」が語源で、nonverbalはその真逆、「言葉によらない」を表す。

2

orchestrate

[ɔːrkɪstreɪt]

動 まとめ上げる

orchestra(オーケストラ)が語源。指揮者が多様な楽器を一つにまとめるイメージから、「(計画・要素などを)巧みに指揮してまとめ上げる」の意味になった。

3

empathize

[éməpəθaɪz]

動 共感する

em-(中へ)+pathy(感情、ギリシャ語pathos)。sympathy(同情)と同じ語根pathosを持つが、symが「共に」感じるのに対しemは相手の「内側に入って」感じるニュアンス。

4

incongruent

[ɪnˈkɒŋɡruənt]

形 不一致の

in-(否定)+congruent(一致した)。congruentは数学の「合同」でもおなじみの語で、in-がつくと図形や意見が「噛み合わない、食い違う」の意味になる。

5

dissonance

[dɪsənəns]

名 不協和

dis-(不一致)+sonance(音、ラテン語sonus)。soundやsonic(音の)と同語源で、音楽の「不協和音」が原義。そこから意見や感情の「食い違い」も表すようになった。

LESSON 10(つづき)

6

entrant

[ˈentrənt/]

名 参入者、新規参入企業

enter(入る)+antで「入る人・もの」。entrance(入り口)、entry(参入)と同語根で、market entrant(市場への新規参入者)のように使われる。

7

entrust

[ɪnˈtrʌst/]

動 委託する、任せる

en-(〜にする)+trust(信頼)という構造で、「信頼して任せる」イメージ。trustee(受託者)も同じtrust語根の仲間。

8

correlation

[ˌkɔːrəˈleɪʃən/]

名 相関関係

co-(共に)+relation(関係)で「相互に関係し合うこと」。統計用語correlation coefficient(相関係数)のように理系の文章にも頻出する語。

9

unduly

[ʌnˈduːli/]

副 過度に、不当に

un-(否定)+duly(正当に、due「当然の」の副詞形)で「正当な程度を超えて」のイメージ。dueは「支払い期限が来た」の意味でもおなじみ。

10

lapse

[læps/]

名 うっかりミス、(管理などの)ゆるみ

ラテン語labi(滑り落ちる)が語源。「気がゆるんで滑り落ちる」イメージから、小さな失敗や一時的な途絶えを指す。collapse(崩壊)も同じlab/laps語根。

LESSON 10

遺伝子検査の問題点

1

commercialization

[/kərˌmɜːrʃələˈzeɪʃən/]

名 商業化

commerce（商業）に「～化する」のcommercialize、さらに名詞化の-ationがついた語。同じ-ize/-ationパターンはmodernization（近代化）やglobalization（グローバル化）にも共通する。

2

irregularity

[/ɪˌregjəˈlærəti/]

名 異常

regular（規則的な）に否定接頭辞ir-がついた形。irregular, illegal, immoral, irresponsibleなど、in-はr/l/mの前でir-/il-/im-に姿を変える発音上のルールがある。

3

pessimistic

[/ˌpesəˈmɪstɪk/]

形 悲観的な

ラテン語pessimus（最悪の）が語源。反対語optimisticはoptimus（最善の）から。pessimist（悲観論者）とセットで覚えると定着しやすい。

4

leakage

[/ˈliːkɪdʒ/]

名 漏洩

leak（漏れる）に、行為・結果を表す名詞化接尾辞-ageがついた形。information leakage（情報漏洩）のように、水だけでなく情報が「漏れる」場合にも使われる。

5

disadvantage

[/ˌdɪsədˈvæntɪdʒ/]

名 不利益

advantage（利点）に否定のdis-がついただけの単純構造。テニスの「アドバンテージ」でおなじみのadvantageと対で覚えれば一瞬で入る。

LESSON 4(つづき)

6

discrete

[ˈdɪskrɪt]

形 個別の

dis-(分離)+crete(分かれた)で「他とは切り離され独立した」がイメージ。数学の「離散的な」も同じ単語。似た綴りのdiscreet(思慮深い)と混同しやすいので要注意。

7

perceive

[pəˈsɪv]

動 知覚する

per-(徹底的に)+ceive(掴む、ラテン語capere)。「隅々まで掴み取る」が原義で、五感や直感で「知覚する」の意味に。conceive(思いつく)、receive(受け取る)と同じcapere系の仲間。

8

comprehension

[kəmˌpriˈhɛnʃən]

名 理解(力)

com-(完全に)+prehend(掴む、ラテン語prehendere)。「全体をがっちり掴む」イメージが「理解」につながる。comprehensive(包括的な)、apprehend(逮捕する=身柄を掴む)も同語源の仲間。

9

foremost

[ˈfɔːmɒst]

形 最も重要な、一流の

fore-(前の)+most(最も)。「一番前に立つ」イメージから「最も重要な、第一人者の」の意味に。foreheadやforecastと同じfore-「前」ファミリー。

10

dominant

[ˈdɒmɪnənt]

形 優位な、支配的な

ラテン語dominus(主人)が語源。dominate(支配する)、dominion(支配権)と同じ仲間で、「利き手」を指すdominant handのように「主となる、優勢な」を表す。

11

mismatch

[mɪsmætʃ]

名 不一致、食い違い

mis-(誤った)+match(組み合わせ)。日本語のカタカナ語「ミスマッチ」そのまま、「噛み合わない組み合わせ」を意味する。本文では言葉とジェスチャーの「食い違い」を指す。

12

crucial

[krʊʃəl]

形 極めて重要な

ラテン語crux(十字架)が語源。十字路で進路を決める「決定的瞬間」のイメージから「極めて重要な」の意味に。crucifix(十字架像)と同語源の意外な仲間。

13

convey

[kənveɪ]

動 伝える、運ぶ

con-(共に)+vey(運ぶ、ラテン語viaに由来)。vehicle(乗り物)やvoyage(航海)と同語源で、「情報や意味を運んで伝える」というイメージ。

14

integrate

[ɪntəɡreɪt]

動 統合する

ラテン語integer(全体の、無傷の)が語源。in-(否定)+tangere(触れる)で「触れられていない=欠けのない全体」。バラバラな要素を一つの全体にまとめる、が原義。

15

fascinating

[fæʃəneɪtɪŋ]

形 魅力的な、興味をそそる

fascinate(魅了する)の現在分詞形。ラテン語fascinare(魔法をかける)が語源で、「呪文にかけられたように引き込まれる」イメージ。

16

expend

[ɪkspénd]

動 費やす、消費する

ex-(外へ)+pendere(ラテン語「支払う、量る」)が語源で「外へ支払い出す」が原義。expense(費用)、expenditure(支出)も同じpend仲間。spend(費やす)と意味が近いのでセットで覚える。

17

peculiarity

[pɪkjʊːliærəti]

名 特異性、風変わりな点

peculiar(独特の、奇妙な)の名詞形。ラテン語peculium「私有財産」が語源で、「その人(もの)だけが持つ特有のもの」が原義。

18

pinpoint

[pɪnpɔɪnt]

動 正確に特定する

pin(ピン)+point(点)で「ピンで刺すように一点を指し示す」が原義。日本語の「ピンポイントで」というカタカナ語とほぼ同じ感覚で使える。

19

massive

[mæsɪv]

形 大規模な、巨大な

mass(かたまり、質量)の形容詞形。「大きなかたまりのような」が原義で、規模や量の大きさを強調する語。massive study(大規模な研究)のように学術的文脈でも頻出。

20

long-standing

[lɒŋstæhndɪŋ]

形 長年にわたる、根強い

long(長い)+standing(立っている、存在している)の複合語で「長い間存在し続けている」が原義。本文のlong-standing debate(長年続く論争)のように、議論や伝統・問題に対してよく使われる。

11

extinct

[ɪkˈstɪŋkt]

形 絶滅した

ラテン語ex-(外へ)+stinguere(消す)が語源。「完全に消え去った」が原義で「絶滅した」に。extinguish(消火する)も同じ語根の仲間。

12

correlation

[kɒrəˈleɪʃən]

名 相関

cor-(共に)+relation(関係)。「互いに関係し合うこと」=相関。correlate(相関する)、relate(関連づける)と合わせて覚える。

13

reptilian

[rɛptɪˈliən]

形 爬虫類の

reptile(爬虫類)の形容詞形。ラテン語reperere「這う」が語源で、「地を這うもの」が原義。本文のreptilian brutes(爬虫類のような獣)のように、やや否定的なニュアンスで使われることもある。

14

capitalize

[kæpɪtəˈlaɪz]

動 (～を)利用する、活用する

capital(元手、資本)が語源で「資本にする」が原義。capitalize on～の形で「～を(自分の利益のために)うまく利用する」という意味になる頻出表現。

15

tabulate

[tæbʊˈleɪt]

動 表にまとめる、集計する

ラテン語tabula「板、表」が語源。table(表、テーブル)と同語源で、「データを表の形に整理する」がそのまま意味に直結する。

16

originate

[əˈrɪdʒənèɪt]

動 起源を持つ、生じる

origin(起源)+-ate(～化する)。original(独創的な)と同語源で、「あるものが最初に生まれ出る」イメージ。

17

cluster

[klʌstər]

名 集団、集まり

元々は「ぶどうなどの房」を指す語。そこから同じ性質のものが房状に「かたまって集まったもの」を意味するようになった。コンピュータのクラスターも同じ発想。

18

cooperate

[kəʊəˈpæərɪt]

動 協力する

co-(共に)+operate(働く、ラテン語operari)。「共に働く」が直訳で、operation(作戦・手術)ともつながる仲間。

19

confirm

[kənˈfɜːm]

動 確認する、裏付ける

con-(完全に)+firm(固い、確かな)。「しっかり固める」が原義で、「(仮説・予約などを)確定させる、裏付ける」の意味になった。

20

demonstrate

[dɛməˈnɪstreɪt]

動 実証する、示す

de-(強調)+monstrate(示す、ラテン語monstrare)。monster(怪物、本来は神の警告として示されるもの)と同語源で、「はっきりと示して見せる」がコア。

LESSON 5

本を所有することによる魔法の効果

1

correlate

[kɔːrələɪt]

動 相関する

co-(共に)+relate(関連する)。「お互いに関連し合う」がそのまま「相関する」の意味に。名詞形correlation(相関関係)は統計やデータ分析の話でも頻出する。

2

longevity

[lɒndʒəvəti]

名 継続期間

long(長い)+ラテン語aevum(年齢・時代)。本来は「長寿」だが、本文のように「(在籍・在職などの)長く続く期間」の意味でも使われる。lifelongやageと語源イメージが繋がる。

3

paraphrase

[pəˈræfrɛɪz]

動 言い換える

para-(そばに・別の形で)+phrase(句、言い回し)。「元の言葉のそばに別の言い方を並べる」がそのまま「言い換える」に。paragraph(段落)も同じpara-を持つ仲間。

4

ontological

[ɒntələdʒɪkəl]

形 存在論的な

ギリシャ語on(存在するもの)+logy(〜学)からontology(存在論)。「〜である」という存在そのものを扱う哲学分野の形容詞形で、難語だが「存在」の核だけ押さえれば十分。

5

substantially

[səbˈstæɪŋjəli]

副 かなり

substance(実質・物質)の形容詞substantialに-lyがついた形。sub-(下に)+stance(立つ)で「下から支える実質」が原義。実質を伴うほど大きい、つまり「かなり、相当に」となる。

LESSON 9(つづき)

6

rekindle

[rɪˈkɪndl]

動 再燃させる

re-(再び)+kindle(火をつける)。「再び火をつける」が原義で、議論・興味などを「再燃させる」の意味に。kindling(焚き付け)も同語根。

7

bask

[bæsk]

動 日光浴する

「日光や暖かさの中で心地よく過ごす」という意味の動詞。ナメクジ的なsluggard(のろま)が日向ぼっこするイメージとセットで覚えると本文と結びつきやすい。

8

simplistic

[sɪmplɪstɪk]

形 単純化しすぎた

simple(単純な)+-istic(〜的な)。simpleより「単純化しすぎて浅はか」という否定的ニュアンスが強い点に注意。simplify(単純化する)と混同しないこと。

9

spectrum

[spéktrəm]

名 範囲、スペクトル

ラテン語specere「見る」が語源。「見えるものの範囲」が原義で、光のスペクトルから転じて「連続的な範囲・幅」の意味に。spectacle(見世物)、inspect(点検する)も同じspec仲間。

10

census

[sénsəs]

名 調査、集計

ラテン語censere「評価する、査定する」が語源。人口調査を意味するcensusはそのまま英語化した語。censor(検閲官=評価する人)も同じ語根。

LESSON 9

恐竜は鳥か爬虫類か、それとも……

1

metabolism

[mətæbəˈlɪzəm]

名 代謝

ギリシャ語meta-(変化)+ballein(投げる)が語源。「体の中で物質を変化させて投げ出す働き」がそのまま代謝の意味に。日本語の「メタボ(メタボリック症候群)」もこの語根から。

2

ectotherm

[éktoʊθərm]

名 外温動物

ecto-(外側、ギリシャ語)+therm(熱)。exoskeleton(外骨格)のexoに近い仲間で、「体の外から熱をもらう動物」=変温動物。thermometer(温度計)もtherm仲間。

3

endotherm

[éndouθərm]

名 内温動物

endo-(内側、ギリシャ語)+therm(熱)。endoscope(内視鏡)のendoと同じで、「体の内側で熱を作る動物」=温血動物。ectothermと対で覚えると効率的。

4

paleontologist

[pèiliaŋtəˈlɒdʒɪst]

名 古生物学者

paleo-(古い、ギリシャ語palaios)+onto(存在)+-logist(～を研究する人)。Paleolithic(旧石器時代)も同じpaleo語根で、「大昔の生き物を研究する人」というそのままの成り立ち。

5

sluggard

[slágərd]

名 のろまな生き物

slug(ナメクジ)+ard(～する人、やや軽蔑的な接尾辞)。ナメクジのようにのろのろした人・生物というイメージそのままの単語。drunkard(酒飲み)も同じ-ard仲間。

LESSON 5(つづき)

6

substitute

[sʌbstətùt]

動 代わりを務める、代用する

sub-(下に)+statuere(置く、ラテン語)。「別のものの下に据えて置き換える」が原義。名詞では「代役、代用品」の意味で、スポーツの「サブ」の語源もここ。

7

thorough

[θərou]

形 徹底的な、綿密な

throughと同語源で「隅から隅まで通り抜ける」がイメージ。そこから物事を「徹底的に」行う様子を表す形容詞になった。発音がthroughとは違うので要注意。

8

literacy

[lɪtərəsi]

名 読み書き能力、識字力

ラテン語littera(文字)が語源。literature(文学)、letter(手紙・文字)と同じ仲間で、「文字を扱える能力」が原義。近年は「情報リテラシー」のように応用的な意味でも定着している。

9

attribute

[ətrɪbjut]

動 ～のせいにする、起因すると考える

at-(～に)+tribute(与える、ラテン語tribuere)。「ある結果をある原因に帰する」がイメージ。名詞attribute(属性・特質)としても頻出する多義語。

10

namely

[néimli]

副 すなわち、つまり

name(名前)+ly。「名前を挙げて言えば」が原義で、具体例を挙げて言い換える際の「すなわち」に。that is to sayとほぼ同義の書き言葉表現。

11

donor

[dóunər]

名 寄贈者、提供者

ラテン語donare(与える)が語源。donate(寄付する)、donation(寄付)と同じ仲間で、「与える人」がそのまま「寄贈者・提供者」の意味になる。

12

determine

[ditərmin]

動 判断する、決定する

de-(強調)+terminus(境界、終点)。「境界線をはっきり定める」が原義で、そこから「(事実・意志を)決定する、突き止める」に。terminal(終着駅)と同語源。

13

variable

[vəriəbl]

名 変数、変わりうる要因

vary(変化する)+able(できる)。ラテン語variare(変える)が語源で、variety(多様性)とも仲間。「変わり得るもの」がそのまま数学・統計の「変数」に。

14

anonymous

[ənənəməs]

形 匿名の

an-(否定)+onym(名前、ギリシヤ語onoma)。「名前がない」が直訳で、synonym(同義語)、pseudonym(ペンネーム)と同じonym系ファミリー。

15

possess

[pəzéz]

動 所有する

pos-(強調)+sedere(座る、ラテン語)。「しっかり座って動かない=手放さず持っている」がイメージ。名詞possession(所有物)とセットで覚えたい。

16

caution

[kú:ʃən]

動 警告する、注意を促す

ラテン語cavere「用心する」が語源。名詞としては「注意、警告」の意味でも頻出。cautious(慎重な)も同語根で合わせて覚えたい。

17

significant

[signifikənt]

形 重要な、有意な

sign(印)+-ficant(作る、ラテン語facere)が語源で「印をつけるほど意味がある」が原義。signify(意味する)、significance(重要性)も仲間。

18

continuously

[kəntínjuəsli]

副 継続的に、絶え間なく

continue(続ける)の形容詞continuous+ly。本文のsimultaneously(同時に)とセットで「同時に、かつ継続的に」測定した、という文脈で考えると効率的。

19

capable

[kéipəbl]

形 できる、能力がある

ラテン語capere「つかむ、含む」が語源。「(能力を)含んでいる」が原義で「~する能力がある」に。capacity(容量、能力)も同じcap語根。

20

galaxy

[gæləksi]

名 銀河

ギリシヤ語galaxias「乳の(ような)」が語源。天の川(Milky Way)が乳白色に見えたことから名付けられた語で、galaxyとMilky Wayは同じ現象を指す。

11

quest

[kwést]

名 探求

ラテン語quaerere「探し求める」が語源。question(問い=探し求める行為)、request(再び求める=要求する)、conquest(完全に求め取る=征服)も同じ語根。

12

resides

[rizáidz]

動 位置する、存在する

ラテン語re-(再び、後ろに)+sedere(座る)が語源。「その場に座り続ける」→「存在する、位置する」。resident(居住者)、sediment(沈殿物=座って落ち着いたもの)も仲間。

13

orbit

[órbit]

動 軌道を回る

ラテン語orbis「円、輪」が語源。「星の周りを円を描いて回る」がそのままの意味。名詞としても「軌道」の意味で使われ、orbital(軌道の)も同語根。

14

resemble

[rizémbɪ]

動 似ている

re-(再び)+semble(似せる、ラテン語simulare)が語源。名詞形resemblance(類似)とセットで覚える。simulate(模倣する)も同じsim語根の仲間。

15

dependent

[dipéndənt]

形 依存している

de-(下に)+pend(ぶら下がる、ラテン語pendere)が語源。「何かにぶら下がっている」→「それに頼っている」。depend(依存する)、pendulum(振り子)も同じpend仲間。

16

transform

[trænsfɔrm]

動 変える、変容させる

trans-(越えて)+form(形)。「元の形を越えて別の形に変える」が直訳で、根本から形が変わるニュアンスを持つ。

17

realm

[reɪlm]

名 領域、世界

古フランス語reialme(王国)が語源で、royal(王の)と同語源。もとは「王が治める領土」を指したが、比喩的に「～の世界、領域」も表すようになった。

18

perception

[pərsépjən]

名 認識、知覚

perceive(知覚する)の名詞形。per-(徹底的に)+cept(掴む)で「隅々まで掴み取ること」が原義。self-perceptionは「自分自身をどう捉えるか」の意味になる。

19

shrink

[ʃrɪŋk]

動 縮小する、減る

古英語scrincan(縮む)が語源。服が洗濯で「縮む」のも数量が「減る」のも同じshrinkで表現できる。shrinkage(縮小)は名詞形。

20

ultimately

[ʌltimatli]

副 最終的に

ultimate(究極の、最後の)+ly。ラテン語ultimus(最後の)が語源で、「あらゆる過程を経た末に」というニュアンスで文全体を修飾する。

LESSON 6

「創造性あふれる人の特徴」

1

novelty

[nəʊvəlti]

名 目新しさ

ラテン語novus(新しい)が語源で、novel(小説/新しい)と同じ仲間。novice(初心者=まだ新しい人)、renovate(改装する=再び新しくする)ともつながる「新しさ」ファミリー。

2

fruitful

[frútfəl]

形 実り多い

fruit(果実)+ful(満ちた)。文字通り「果実がたわわに実った」イメージから「成果の多い」の意味に。逆に実を結ばない「無駄な」はfruitlessで、セットで覚えると効率的。

3

transferable

[trænsfərəbl]

形 応用できる

trans-(越えて)+fer(運ぶ、ラテン語ferre)+able(できる)。「別の場所へ運べる」が原義で、本文では「ある分野のスキルを別分野へ運べる」→「応用できる」の意味になっている。

4

improvise

[ɪmprəvaɪz]

動 即興で行う

im-(否定)+provise(前もって見る、provide「備える」と同語源)。「前もって準備しない」が原義で、そこから「即興でやる」に。ジャズの「アドリブ=インプロ」もこの単語から。

5

camouflage

[kæməflɑʒ]

名 擬態

フランス語camoufleur(変装する、目くらましする)が語源で、日本語にも「カムフラージュ」としてそのまま定着している外来語。生物の保護色から軍事の迷彩まで幅広く使われる。

LESSON 8(つづき)

6

astronomers

[əstrəˈnɒməz]

名 天文学者

ギリシャ語astro-(星)+nomos(法則)で「星の法則を扱う人」=天文学者。astronaut(星への旅人=宇宙飛行士)も同じastro語根。

7

numerous

[nʊːməəs]

形 多数の

ラテン語numerus「数」が語源。number(数)と同語源で「数が多い」。numeral(数字)、enumerate(一つ一つ数え上げる)も仲間。

8

companion

[kəmˈpænjən]

名 伴う仲間、伴星

ラテン語com-(共に)+panis(パン)が語源。「一緒にパンを食べる仲間」が原義で「相棒、伴う天体」に。company(会社、仲間)も同じ語根。

9

simultaneously

[səɪmʌlˈtɛɪniəsli]

副 同時に

ラテン語simul「同時に」が語源。simulate(同時に似せる=模倣する)、simultaneous(同時の)と同じ語根。複数の出来事が並行して起こるイメージで覚える。

10

atmospheric

[ætˈməsfɪk]

形 大気の

ギリシャ語atmos(蒸気)+sphaira(球)からatmosphere(大気圏)。その形容詞形がatmospheric。sphere(球体)やhemisphere(半球)も同じsphaira仲間。

LESSON 8

地球に似た系外惑星「ケプラー186f」を発見

1

habitable

[hæbɪtəbl̩]

形 生存可能な

ラテン語habitare「住む」が語源。habitat(生息地)、inhabit(〜に住む)と同じ仲間。「habitable zone=人が住める(生存可能な)領域」とセットで覚えると本文にも直結する。

2

constellation

[kənˈstælɪjən]

名 星座

con-(共に)+stella(星、ラテン語)で「星々が集まったもの」。stellar(星の、一流の)と同じstella語根を持つ。

3

composition

[kəmˈpəzɪjən]

名 組成

com-(共に)+pos(置く、ラテン語ponere)で「一緒に置かれたもの」= 構成・組成。compose(構成する、作曲する)、component(構成要素)も同じpos仲間。

4

exoplanet

[éksɒplæhɪt]

名 系外惑星

exo-はギリシャ語で「外の」を意味する接頭辞。exoskeleton(外骨格)やexit(外へ出る)と同じ。exo+planetで文字通り「太陽系の外の惑星」。

5

rocky

[ˈrɑki]

形 岩石質の

rock(岩)+y(形容詞化の語尾)。Rocky Mountains(ロッキー山脈)を思い浮かべれば、「岩だらけの」イメージがそのまま単語の意味になる。

LESSON 6(つづき)

6

discipline

[dɪsəplɪn]

名 分野、規律

ラテン語discere(学ぶ)が語源で、disciple(弟子=学ぶ人)と同じ仲間。「学問の一分野」の意味と「規律・訓練」の意味の両方を持つ多義語。

7

endeavor

[endéːvər]

名 試み、努力

en-(〜にする)+devoir(義務、フランス語)。「義務を果たそうと努める」が原義で、NASAのスペースシャトル「エンデバー号」の名前としても有名。

8

pursue

[pəˈsú]

動 追求する、従事する

per-(徹底的に)+sequi(追う、ラテン語)。「どこまでも追いかける」がイメージで、目標や趣味を「追求する」の意味に。sequence(連続)、consequence(結果)と同語源。

9

persistently

[pəˈsɪstəntli]

副 粘り強く

per-(徹底的に)+sist(立つ、ラテン語sistere)。「最後までじっと立ち続ける」がイメージで「粘り強く、しつこく」の意味に。insist(主張する)、resist(抵抗する)と同じsist系の仲間。

10

adolescent

[ædəˈləsənt]

名 青年、思春期の若者

ラテン語adolescere(成長する)が語源。adult(大人)と同じ語根で、「成長しつつある人」つまり思春期の若者を指す。名詞adolescence(思春期)とセットで覚えたい。

11

quotient

[kwóʊjənt]

名 指数、商

ラテン語quotiens(いくつ、何倍)が語源。IQ(intelligence quotient)でおなじみの単語で、数学の「商(割り算の答え)」を意味する。quota(割り当て)とも同語源。

12

abstract

[æbstrækt]

動 抽象化する

abs-(離れて)+tract(引く、ラテン語trahere)。「具体的なものから引き離す」が原義で、細部を取り除き本質だけを取り出すイメージ。

13

synthesize

[sínθəsàiz]

動 統合する、合成する

syn-(共に)+thesis(置くこと)。「複数の要素を一つに組み合わせて置く」が原義。シンセサイザー(synthesizer)は音を合成する楽器で、まさに同語源。

14

beneficial

[bènəfjəl]

形 有益な

bene-(良い)+fic(作る、ラテン語facere)。benefit(利益)の形容詞形で、「良い結果を作り出す」がコアイメージ。

15

by-product

[baɪprɒdʌkt]

名 副産物

by-(側にある、副次的な)+product(生産物)。主目的の過程で「ついでに生まれるもの」を指し、比喩的に「思わぬ副次的成果」の意味でも使われる。

16

overlook

[ðu:vərlúk]

動 見過ごす、大目に見る

over(上から)+look(見る)で「上から見下ろす」が原義。そこから「(細部を)見落とす」「(欠点を)大目に見る」の両方の意味に発展した多義語。

17

arena

[əriːnə]

名 (活動の)舞台、領域

ラテン語harena「砂」が語源。古代ローマの闘技場の床に砂が敷かれていたことから「競技場」の意味になり、そこから比喩的に「(競争や議論の)舞台」を表すように。

18

generic

[dʒənərik]

形 一般的な、無銘柄の

gen-はラテン語で「種族、生まれ」を表す語根。genus(属)やgenerate(生み出す)と同語根で、「ある種族全体に共通する」→「特定の商標によらない一般的な」の意味に。ジェネリック医薬品のジェネリックと同じ。

19

mislead

[mislí:d]

動 誤解させる、惑わす

mis-(誤って)+lead(導く)で「誤った方向に導く」が原義。日本語でも「ミスリード」とカタカナで定着した語で、本文のmisleading advertising(誤解を招く広告)はこの現在分詞形。

20

fool

[fú:l]

動 だます

名詞fool(愚か者)がそのまま動詞化した語で「(人を)愚か者にする」→「だます」。fool around(ふざける)などのイディオムも頻出なので合わせて押さえておきたい。

11

illusion

[ilú:ʒən]

名 幻想

ラテン語il-(中で)+ludere(遊ぶ、からかう)が語源。「心の中で遊ばれるもの」=幻想。allude(ほのめかす)やelude(すり抜ける)も同じludere仲間。illustrate(照らし出す)とは別語源なので注意。

12

superior

[səpɪriər]

形 優れた

ラテン語super(上に)の比較級で「より上にある」が原義。本文のinferior(下にある→劣った)と対になる語で、seniorやexteriorなどior語尾の比較級グループに属す。

13

soar

[sɔr]

動 急上昇する

元は「鳥が空高く舞い上がる」イメージの語。株価・数値・人気などが一気に跳ね上がる場合にも使われ、本文では消費量が急増する様子を表す。同音のsore(痛い)と混同しないこと。

14

unspoiled

[ʌnspóild]

形 汚されていない、手つかずの

spoil(台無しにする)の過去分詞にun-(否定)がついた形。spoiled child(甘やかされた子)のspoilと同じ語で、「自然のままで損なわれていない」というイメージ。

15

distinguish

[distɪŋɡwɪʃ]

動 区別する

di-(離して)+stingere(ラテン語「印をつける」)が語源で「印をつけて分ける」が原義。extinguish(火を消す=印を完全に消す)も同じstingere仲間。

16

breed

[brið]

動 生み出す、繁殖させる

本来は動物が「子を産み育てる」の意味だが、比喩的に「(状況などが)～を生み出す」に拡張される。creativity breeds more creativityは「創造性が創造性を生む」好循環を表す。

17

eventually

[ivéntʃuəli]

副 最終的に、やがて

event(出来事)+ual+ly。「様々な出来事を経た結果として」というニュアンスで、紆余曲折の末にたどり着く結末を表す副詞。

18

potential

[pətéɪjəl]

名 可能性、潜在能力

ラテン語potentia(力)が語源で、power・possibleと同じ語根pot-を持つ。「まだ発揮されていない力」がそのまま「潜在能力」の意味になる。

19

convincing

[kənvínsɪŋ]

形 説得力のある

convince(納得させる)の現在分詞。con-(完全に)+vincere(勝つ、征服する)が語源で、「相手の疑いに打ち勝つ」ほど説得力がある、というイメージ。

20

genius

[dʒínjəs]

名 天才、才能

ラテン語genius(守護霊、生まれ持った才能)が語源。generate(生み出す)やgene(遺伝子)と同じgen-(生まれる)ファミリーで、「生まれながらの特別な力」がコア。

LESSON 7

「私たちは『ブランドのラベル』にお金を払っているのか!」

1

unsuspecting

[ʌnsəspɛktɪŋ]

形 疑わない

sus-は「下から」、specは「見る」というラテン語の語根。suspect(疑う)は「下から覗き見る」が原義で、それにun-(否定)がついて「疑っていない」に。spectacle(見世物)やinspect(点検する)もspec仲間。

2

boast

[bəʊst]

動 誇る

「胸を張って大声で言う」イメージの単語。boast about/of ~の形でよく使われ、単なるproudより「口に出して自慢する」ニュアンスが強い。

3

megacorporation

[megəkɔːrpəreɪʃən]

名 巨大企業

mega-(巨大)+corporation(会社)。corp-はラテン語で「体」を意味し、corpse(死体)やcorporal(身体の)と同語根。megabyte・megaphoneのmegaと合わせて「体(組織)が巨大化したもの」と覚える。

4

implication

[ɪmˌplɪkɪʃən]

名 暗示

imply(暗示する)の名詞形。plic-はラテン語「折りたたむ」で、im-(中に)+plicで「言葉の中に折り込まれた意味」。complicate(複雑にする=一緒に折り込む)、explicit(はっきり広げた=明白な)も同じplic仲間。

5

detectable

[dɪtɛktəbl]

形 検知できる

detect(検知する)+able(できる)。tect-はラテン語tegere「覆う」で、de-(覆いを取る)+tect=「隠れていたものを暴く」。protect(前もって覆う=保護する)も同じtect語根。

LESSON 7(つづき)

6

exotic

[ɪɡzəˈtɪk]

形 異国風の

ギリシャ語exo-(外の)+-ic(形容詞化)。exit(出口)やexoskeleton(外骨格)と同じexo語根で「外からやってきた」が原義。転じて「異国風の、風変わりな」という意味に。

7

consumption

[kənˈsʌmpʃən]

名 消費

動詞consume(消費する)の名詞形。con-(完全に)+sumere(取る、ラテン語)で「すっかり取り込む」が原義。resume(再び取る=再開する)やassume(自分の方へ取る=想定する)も同じsume語根。

8

inferior

[ɪnfɪˈrɪər]

形 劣った

ラテン語inferus「下の」の比較級。inferno(地獄=一番下)と同語源で、「他より下にある」→「劣った」。反対語superior(sup-上+erior=優れた)とセットで覚えると効率的。

9

rival

[raɪvəl]

名 競争相手

ラテン語rivus「川」が語源。同じ川(rivus)の水を取り合う者同士、というのが原義で「競争相手」に。river(川)と同語源というのは覚えやすい豆知識。

10

phenomenon

[fəˈnɑːmənən]

名 現象

ギリシャ語phainein「現れる」が語源。phantom(幽霊)やphase(段階、現れ方)も同じ語根。「目に見える形で現れる出来事」が原義で「現象」に。複数形phenomenaも要チェック。